

講演会

帝銀事件 と 登戸研究所

捜査手記から明らかになる旧日本陸軍の毒物研究 2

2020 年 3 月 14 日(土)

【時間】 13 時～ 15 時 (開場 12 時半) 【定員】 280 名 (予約不要・無料)

講師 山田 朗

会場

明治大学生田キャンパス
中央校舎 6F メディアホール

(登戸研究所資料館 館長・明治大学文学部教授)



日本の犯罪史上特筆すべき大量毒殺・強盗事件である帝銀事件。事件には旧日本陸軍の毒物研究開発機関などの関係者の関与が疑われました。事件の捜査主任だった刑事が残した『捜査手記』より、旧日本陸軍の毒物研究機関、謀略機関にどこまで当時の警察が迫ったのか、そして旧日本陸軍の毒物研究と使用についてどこまで明らかになったのか、最新の調査研究成果をお話しします。

Twitter



facebook



資料館 HP



明治大学平和教育登戸研究所資料館

The defunct Imperial Japanese Army Noborito Laboratory Museum for Education in Peace, Meiji University

〒214-8571 神奈川県川崎市多摩区東三田 1-1-1 明治大学生田キャンパス内 TEL/FAX 044-934-7993

✉ noborito@mics.meiji.ac.jp

🏠 <http://www.meiji.ac.jp/noborito/index.html>

「帝銀事件と登戸研究所

— 捜査手記から明らかになる旧日本陸軍の毒物研究 2 —

登戸研究所資料館では、帝銀事件発生より 70 年をむかえる 2018 年より、帝銀事件に関する企画を毎年行っています。今年度は、昨年企画展に続き、『捜査手記』より、当時の警察が旧日本軍組織のうちどれぐらいの人数を捜査したのか、その中でもどのような組織に注目したのか、そして登戸研究所や第 731 部隊、第 1644 部隊などの上層部を含む関係者にどのくらい捜査員は肉薄したのかを明らかにします。



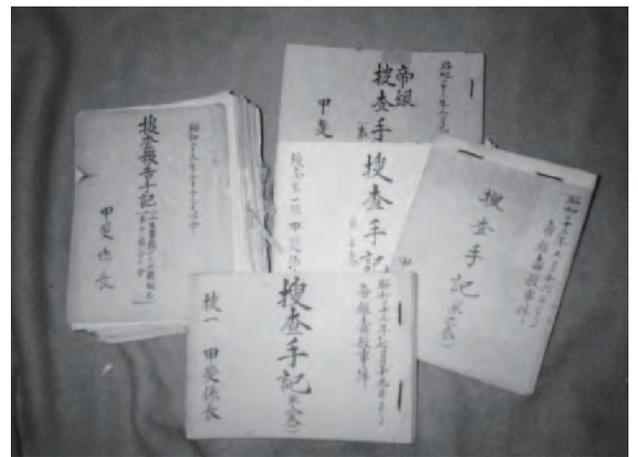
帝銀事件発生を報じる当時の紙面
(1948 年 1 月 27 日付『朝日新聞』東京版長官 2 面、開蔵 II
ビジュアルより、朝日新聞社所蔵)

帝銀事件とは

1948 年（昭和 23）1 月 26 日、帝国銀行椎名町支店（東京都豊島区）で発生した集団毒殺強盗事件です。赤痢の予防薬と偽り毒物を飲まされた行員と用務員一家の計 16 名のうち 12 名が死亡、現金約 16 万円と 1 万円分の小切手が盗まれました。犯行毒物は特殊な青酸化合物だとみなされたため、登戸研究所が開発した「青酸ニトリール」の使用が疑われ、登戸研究所の他、旧日本陸軍の特務機関や毒物兵器研究・開発機関が捜査対象となりました。

『捜査手記』とは

帝銀事件捜査主任だった甲斐文助が、事件発生当日から犯人が拘置所へ移送されるまでの捜査報告を記録したものであり、約 3,000 枚にもおよびます。犯人は旧日本軍の特務機関に属した人物として捜査を進めていたため、『捜査手記』には登戸研究所の他、第六陸軍技術研究所（毒ガス研究）、第 731 部隊（毒物を利用した謀略）などの上層部や関係者の緻密な事情聴取内容が記録されています。そのため、『捜査手記』は旧日本陸軍の毒物研究の実態を解明する第一級の資料であるといえます。



『甲斐捜査手記』（帝銀事件再審弁護団所蔵）

〈会場へのアクセス〉小田急線「生田」南口徒歩 15 分、
「向ヶ丘遊園」北口より小田急バス「明大正門前」終点下車。

※一般の駐車スペースが構内にないため公共交通機関をご利用ください（特別な理由がある場合はご相談ください）

※生田駅方面からご来場の場合、「明治大学地域産学連携研究センター」のエスカレーターをご利用いただけます

〈お問い合わせ先〉明治大学平和教育登戸研究所資料館
〒214-8571 神奈川県川崎市多摩区東三田 1-1-1
TEL/FAX 044-934-7993 E-mail noborito@mics.meiji.ac.jp
<https://www.meiji.ac.jp/noborito/>

